

## 令和2年3月 斐伊川水系水質情報

令和2年3月(宍道湖:6日・中海:3日採水)				単位:mg/l(Chl-a: µg/l)						
項目	層	S-3(宍道湖湖心)		N-6(中海湖心)			米子湾中央部			
COD	全層	6.1	× やや高い	3.6	△ 平年並み	3.3	△ 平年並み			
全窒素	上層	0.49	△ 平年並み	0.41	△ 平年並み	0.43	△ 平年並み			
全リン	上層	0.047	△ 平年並み	0.033	△ 平年並み	0.029	○ 良好(平年並み)			
Chl-a	上層	58	☆ かなり高い	15	△ 平年並み	9.9	△ 平年並み			
塩化物イオン	上層	3,410	× やや高い	11,400	△ 平年並み	11,300	× やや高い			
	下層	3,780	× やや高い	16,200	△ 平年並み	11,900	△ 平年並み			
溶存酸素	上層	12.4	平年並み	10.5	平年並み	10.6	平年並み			
	下層	12.4	やや高い	6.6	平年並み	10.0	平年並み			

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.1	上昇	3.4	横ばい	3.4	横ばい
全窒素	上層	0.50	横ばい	0.40	横ばい	0.37	横ばい
全リン	上層	0.044	横ばい	0.026	横ばい	0.027	横ばい

宍道湖の透明度は1.3mから1.0mとやや下降し、やや悪い。中海の透明度は2.0mから1.8mと横ばい。米子湾の透明度は1.7mから2.0mとやや上昇している。

### 【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

#### 1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	↑	×	<やや高い>
10年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値	↓		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

#### 2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%